

2018年8月2～6日

L G D T 差別発言、自民党総裁選、政局

佐川氏偽証の告発、自公の同意なく実現せず 野党は反発
朝日新聞デジタル別宮潤一、斉藤太郎 2018年8月3日 19時35分



佐川宣寿・元理財局長

自民、公明の与党は3日、森友学園問題をめぐる証人喚問で虚偽の証言をしたとして財務省の佐川宣寿・元理財局長を偽証罪で告発するよう求めていた野党に対し、賛同できないとの考えを伝えた。告発には出席議員の3分の2以上の賛成が必要なため、告発は実現しないことになった。

佐川氏の証人喚問は3月27日に衆参両院の予算委員会で行われた。野党は佐川氏の証言と、財務省がその後に公表した森友学園との交渉記録や公文書改ざんに関する調査報告書を検証。森友問題について「昨年2月上旬の新聞報道で知った」とした発言など衆院で5カ所、参院で4カ所の偽証があったとして、議院証言法に基づく偽証罪の告発に賛同するよう、与党に求めていた。

衆院予算委の与党筆頭理事の菅原一秀氏（自民党）は3日、野党筆頭理事の逢坂誠二氏（立憲民主党）と国会内で会談。記憶に忠実である限り、客観的に誤っていたとしても虚偽の陳述に当たらないと指摘した。野党側の主張は財務省の報告書で認定された事実を重ねており、私人の告発にも慎重であるべきだなどとして、告発には賛同できないと結論づけた。

これに対し、逢坂氏は『記憶の限り』という枕ことばを付ければ、あらゆることが偽証にならなくなり、国会の議論は成り立たない」と反発。国会閉会中の予算委開催や佐川氏らに対し改めて証人喚問を実施するよう求めた。こうした要求に対し、菅原氏からは返答はなかったという。

逢坂氏は会談後、「(与党が) 告発に乗らない理由が理解できない」と記者団に語り、今後の対応について他の野党と改めて協議する考えを示した。(別宮潤一、斉藤太郎)
野党が偽証の疑いを指摘する佐川氏の主な証言

- 「(森友問題を) 昨年2月上旬の新聞報道で知った」
 - ・偽証と指摘する理由：財務省調査報告書によると、報道前に同省理財局の国有財産審理室から説明を受けていた
- 「(安倍晋三首相の妻・昭恵氏が森友学園の名誉校長であると) 報道で知った」
 - ・理由：財務省が開示した交渉記録によると、昭恵氏が名誉校長だと認識していた省内のメモが既にあり、国有財産

審理室がその事実を佐川氏に報告しないはずがない

- 「(総理や総理夫人の影響があったとは全く考えておりません)」

- ・理由：報告書によると、決裁文書について佐川氏が「必要な書き換えは行う必要がある」と証言し、昭恵氏の記述も削除されている

- 「(理財局が籠池泰典氏に『身を隠してください』と連絡したことについて) 私自身、全くそういうことはしておりません」

- ・理由：報告書によると、理財局内で佐川氏以下で議論した結果、同局職員に対して、森友学園の対外的な説明を顧問弁護士に一元化するよう指示し、学園側に籠池氏が不在であると説明するように職員に提案させた

「防災省」創設を要望＝全国知事会



小此木八郎防災担当相（左）に要望書を手渡す鈴木三重県知事＝3日午後、内閣府

全国知事会の鈴木英敬危機管理・防災特別委員長（三重県知事）は3日、内閣府で小此木八郎防災担当相と面会し、南海トラフ地震などの国難レベルの災害に備えるため、司令塔機能を持つ「防災省」を政府に設置するよう求めた。

要望は、7月末に札幌市で開かれた全国知事会議で取りまとめた。防災省設置に加え、被災者生活再建支援制度の対象拡大なども盛り込んだ。

面会后、鈴木委員長は記者団に「(2020年度末に廃止される)復興庁のことも議論しないといけない」と指摘し、同庁廃止後の後継組織の検討に合わせ、防災組織の体制強化も議論すべきだとの考えを示した。要望に対し、小此木防災相は「国と自治体の連携をしっかりとやっていきたい」と述べたという。(時事通信 2018/08/03-16:26)

杉田水脈議員の発言「差別だ」「まず謝罪を」 抗議デモ
朝日新聞デジタル 2018年8月5日 19時06分



自民党の杉田水脈衆

院議員への抗議の声をあげる人たち＝2018年8月5日午後4時10分、東京都渋谷区、諫山卓弥撮影

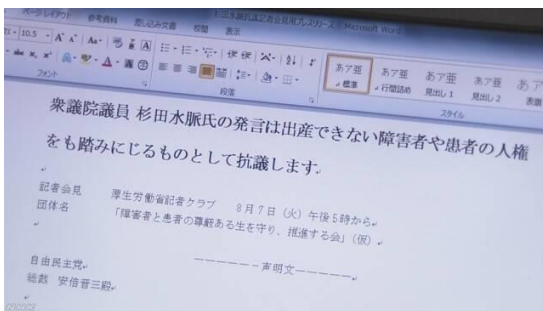


自民党の杉田水脈（みお）衆院議員が月刊誌で同性カップルを念頭に「生産性がない」などと主張した問題に対する抗議活動が5日、各地であった。同党は問題視して杉田氏をすでに指導しているが、抗議活動の参加者らは「差別発言だ」として謝罪や杉田氏の議員辞職など厳しい対応を求めた。

東京・渋谷駅前で行われた抗議活動では、LGBTの当事者らが次々にマイクを握った。「誰にも私の生き方を決めさせない」「すべての人たちの人権・差別に関する問題」などと歩行者らに訴えた。都内から聴きに訪れたフリーライター、竹内美保さん（57）は『生産性』の発言は議員以前に人としても失格。それなのに杉田氏は謝罪すらしていない。まずはそこから求めたい」と話した。

「生産性ない」発言に批判広がる 障害者団体などが抗議組織

NHK8月3日 18時12分



自民党の杉田水脈衆議院議員が、月刊誌で性的マイノリティーの人たちについて、『生産性』がないなどという考えを示したことを受け、障害のある人や難病患者を支援する団体が、『生産性』で人の価値をはかる考えが広がるおそれがあるとして、横断的な組織を立ち上げ、抗議の意思を示していくことになりました。

自民党の杉田議員は、先月、月刊誌で性的マイノリティーの人たちについて、「子どもを作らない、つまり『生産性』がない。そこに税金を投入することがいいのか」などという考えを示しました。

これを受け、障害のある当事者らの団体や難病患者の支援

団体が、障害や難病によって出産や働くことが難しい人たちもいる中、性的マイノリティーの人だけの問題ではないとして、横断的な組織を立ち上げることになりました。

事務局を務める難病のALS＝筋萎縮性側索硬化症などの患者の支援団体のもとには、当事者から「病気で子どもを産めない自分の価値を否定されているようだ」といった声が多く寄せられているということです。

この団体の職員で、筋肉の難病を発症した40代の女性は『生産性』という言葉はいろいろな人を傷つけていて、怒りを通り越して悲しい気持ちです」と話していました。

団体の事務局長を務める川口有美子さんは『生産性』で判断する主張は、障害者殺傷事件を起こした被告の考え方と根っこでは同じではないかと感じます。多様性を認める社会になるよう声を上げていきたい」と話していました。新たな組織は、来週、会見を開いて抗議の声明を発表することになっています。

NHKの特設サイトにも投稿相次ぐ

19人が殺害された障害者殺傷事件のNHKの特設サイトには、障害のある当事者などからも『生産性』で人を区別する考えを批判する投稿が相次いでいます。

人を生産性で区別する考えをめぐっては、19人が殺害された障害者殺傷事件の被告が、生産能力のない重度の障害者は生きている価値がないという趣旨の発言を繰り返しています。

今回、杉田議員はLGBTの人たちについて言及していますが、こうした考えについては、障害のある当事者やその家族からも反発の声が上がっていて、障害者殺傷事件のNHKの特設サイト「19のいのち」にも批判する投稿が相次いでいます。

重い知的障害のある娘がいる千葉県の40代の母親は「自分の考える基準がすべて正しく、その枠組みからはみ出た人は切り捨てるべきとの考えはごう慢で危険だと思う。『生産性』うんぬんを言う人は自分自身の価値をどれほど高く見積もっているのだろう」と批判しています。

東京都の障害のある50代の女性は「健常者で、子どもを作る、生むことができる人がすぐれた人間なのか。私も障害者ですが、19の命が奪われてから社会は私もいらなと思っていますという考えにとらわれて苦しんでいます」と疑問の声を寄せています。

また、長野県の30代の会社員の男性は「政治家に限らず世の中の多数がマイノリティーに対する偏見が根強いと思う。一人一人が当事者意識を持たなくてはならない」としています。

性的マイノリティー支援団体は

レズビアンで子どもが欲しい性的マイノリティーの人たちの支援などを行っている団体「こどもまっぷ」の長村さと子代表理事は「そもそも生産性で人間を語ることは間違っている。生産性のあるなし、国に利益をもたらすかどうかで

税金を投じるかどうかを決めるのはおかしいことだと思います」と話しています。

団体は8年前から子どもが欲しいと考える性的マイノリティーの人たちの交流会を開いていて、参加者はこれまでに400人を超えています。

長村さんはパートナーの女性との間で子どもを育てたいと考えていて、「私たちのように子どもが欲しいと思っていたり、すでに実際に子育てしている同性カップルもいます。今回の発言は、そういう人たちの存在が無視されているし、その言葉がどういう風に人を傷つけるのか想像できないのでしょうか。疑問や怒りや悲しみの気持ちが湧いてきます」と話しています。

二階氏「大げさ、この程度の発言で」 杉田水脈氏ら巡り 朝日新聞デジタル 2018年8月2日 20時15分

自民党の二階俊博幹事長は2日、同党所属議員から性的少数者への無理解な主張が続いていることについて「こういうことはそんなに大げさに騒がないほうがいいんです。この程度の発言があったからと言って、帰国してからどうだってそんな話じゃありません」と述べた。訪問先の韓国・ソウルで記者団に語った。

自民党は2日、杉田水脈（みお）衆院議員が同性カップルを念頭に「子供を作らない、つまり『生産性』がない」などと主張した問題について「(LGBT) 問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現がある」として、杉田氏に今後注意するよう指導したとの党見解を公表した。同党の谷川とむ衆院議員もインターネット放送で、同性婚のための法整備は不要との見解を示す中で、同性愛を念頭に「『趣味』みたいなもの」と発言している。

杉田議員寄稿 LGBTなど抗議活動 渋谷駅前に数百人 毎日新聞 2018年8月5日 19時20分(最終更新 8月5日 21時35分)



性的少数者を差別する寄稿をした自民党の杉田水脈衆院議員に抗議する人たち＝東京・JR渋谷駅前で2018年8月5日午後4時10分、藤井達也撮影

自民党の杉田水脈（みお）衆院議員が、LGBTなどの性的少数者は「子供を作らない、つまり『生産性がない』」などと月刊誌「新潮45」に寄稿した問題で、東京都渋谷

区の渋谷駅前で5日、当事者らによる抗議活動が行われた。ツイッターなどの呼び掛けで数百人が集まり、「生産性で差別をするな」などさまざまなプラカードを掲げながら、マイクを握る当事者らのスピーチに耳を傾けた。

レズビアン鈴木南十星（なとせ）さん（22）は、性の多様性を表すレインボーカラーの旗を手にとり「日本に差別がなかったら、私はここに立っていない。日本には差別があります」とスピーチ。「少しでも社会を変える手助けをしてほしい。私たちで変えましょう」と通行人にも訴えかけた。

ゲイのイラストレーター、カナヅユキさん（29）は「差別を受けても黙ってやり過ごしてきたが、黙っていたら続く。全員で立ち向かわないといけない。これまで味わった苦しみを若い世代が感じない社会を作しましょう」。レズビアン活動家、土屋ゆきさん（49）は「杉田さんの記事を読んでも傷つかないくらい、ずっと差別され、声を上げて無視されてきたが、慣れてはいけません」と訴えた。

東京都内での杉田氏への大規模な抗議活動は、7月27日に実施された自民党本部前での集会に続き2回目。【藤沢美由紀】

しんぶん赤旗 2018年8月6日(月)

「生産性のために生きていない」 渋谷で杉田暴言に抗議

LGBT（性的少数者）の

カップルを「『生産性』がない」などと月刊誌に寄稿した自民党の杉田水脈（みお）衆院議員に抗議する行動が5日、JR渋谷駅前で開催されました。猛暑の中、大勢の人たちが集結し、怒りの声を上げました。

主催者を代表して平野太一さん（33）が、「杉田議員は、謝罪も撤回もしていない。生産性がないと、政治家という立場の人間が言うことがどれだけ人を傷つけるか考えたら、絶対見過ごせない。声を上げ続けましょう」とあいさつ。

「This is Pride」一。こう強く叫んだのは、レズビアンであることをカミングアウトしたユーチューバー（22）です。「私たちは生産性のために生きていない。同性愛は趣味なんかじゃない。杉田議員の発言は社会全体の問題です。



（写真）「同性愛を蔑視する杉田水脈議員の発言も、それを擁護する自民党も、どちらも絶対許せない」と、怒りの声をあげる参加者＝5日、東京都渋谷区

それを容認する自民党は絶対に許せない」と訴えかけました。参加者たちからは、「その通りだ」と、大きな拍手と歓声が上がりました。

「沈黙は死」というプラカードを掲げて参加した女性(64)=西東京市=は、「メディアには、もっとこの問題を取り上げてほしい」と言いました。ツイッターで行動を知ったと話す女性(35)は、「自民党の言う生産性は、国家にとって役に立つかどうか。そんなもので人間の価値を決めるなんておかしい」と語りました。

LGBT成人式 年齢など問わず 群馬・高崎で11日

毎日新聞 2018年8月4日 18時07分(最終更新 8月4日 18時11分)

「ありのままの自分」を大切にしたいー。LGBTなどの性的少数者が「成りたい人」への一歩を踏み出すことをテーマにした「ぐんまにじいろ成人式(LGBT成人式)」が8月11日、群馬県高崎市足門町の市民活動センターソシアスで開かれる。LGBT成人式の開催は県内では初。年齢やセクシュアリティ(性のあり方)を問わず誰でも参加でき、服装は自由。トランスジェンダー女性(戸籍は男性、性自認は女性)のヘイリーさん(19)=前橋市=は『私らしさ』を表現し、自分に誇りや自信を持つきっかけにしたい」と楽しみにしている。【鈴木敦子】

ヘイリーさんは日本人だが、親の仕事の都合で中学時代から欧米で生活したことがあり、こう名乗っている。

子どものころから女の子と一緒に遊ぶ方がしっくりきた。「おかま」「なんでいつも女子といるの」。男子グループからいじめられ、女子グループとの友情を切り裂かれた。

声変わりが始まると、「自分が自分でなくなる」という恐怖や絶望感に襲われた。でも、誰にも相談できなかった。

進学した県立高校の制服は詰め襟の学生服。校則で男子だけ短髪を強いられた。「制服も髪形も嫌」。そんな訴えが、生徒指導担当の教師の目には「反抗的態度」と映ったのか、「それを認める代わりに特別扱いしていいのか？」と言われた。全校生徒に自らのセクシュアリティを明かすよう迫られた気がして、我慢した。「特別扱いではなく、ごく自然に認めてもらいたかった」。同じ境遇だった他校の友人は耐えきれず退学した。それほど苦痛なのだ。

だから、成人式では思う存分着たい服を着て、好きな髪形で臨むと決めている。「成人の辞」としてスピーチもする予定だ。かつて「性別なんて関係ない。あなたはあなた」と励ましてくれた叔母に向けて、感謝を伝えたいという。

◇ ◇

ぐんまにじいろ成人式は午後1時開会。自らの性別に違和感を持つ主人公を描いた映画「僕らの未来」の上映会などがある。午後5～7時は懇親会で、懇親会の参加費は500円。それ以外は無料。

申し込み方法など詳細は主催者のセクシュアルマイノリ

ティ支援団体「ハレルワ」のホームページ(<https://hareruwa.tumblr.com/>)から。

宮崎県庁 虹色ライトアップ LGBTへ理解呼びかけ

毎日新聞 2018年8月4日 08時46分(最終更新 8月4日 09時25分)



左から赤・だいだい・黄・緑・青・紫の6色のライトで照らされた宮崎県庁本館=宮崎県庁で2018年8月1日午後7時51分、塩月由香撮影

宮崎市の宮崎県庁本館が1日から性の多様性を象徴するレインボーカラーにライトアップされている。今月の人権啓発強調月間に合わせて性的少数者(LGBTなど)への理解を呼びかける。7日まで。点灯は日没20分後から午後10時。

1932(昭和7)年建築の県庁本館は国の登録有形文化財。LGBTの尊厳を示す「レインボーフラッグ」の6色を初めて映し出す。3月に県内の当事者団体「レインボービュー宮崎」が河野俊嗣知事に要望し実現した。5日まで本館1階で性の多様性を解説するパネルも展示される。

1日夜、照らし出された本館に見入っていた男性(66)は「理解しようという時代の流れだなと感じた」と話した。

【塩月由香】

二階氏「この程度とは発言者のこと」 杉田氏発言巡り補足

朝日新聞デジタル 2018年8月2日 23時09分

自民党の二階俊博幹事長が2日、同党所属議員から性的少数者への無理解な主張が続いていることについて「この程度の発言があったからと言って、帰国してからどうだってそんな話じゃありません」と述べたことについて、二階氏は同日夜、『この程度』とは、発言者のことであり、LGBTの方々を指して言っているわけではありません。わが党は引き続き公約に掲げたように性的な多様性を受容する社会の実現を目指してまいります」との補足コメントを発表した。

首相「党、既に見解」 関連団体「不十分」 杉田氏寄稿

朝日新聞デジタル 2018年8月2日 20時42分

自民党の杉田水脈(みお)衆院議員が同性カップルを念頭に「生産性がない」などと主張した問題で、安倍晋三首相は2日、記者団に「人権が尊重され、多様性が尊重される社会を目指すのは当然だ」と述べた。同党は同日、杉田

氏を指導したことをホームページ上で明らかにしたものの、関係団体などからは「不十分」との指摘が出ている。

自民党は、杉田氏が月刊誌への寄稿で、同性カップルを念頭に「子供を作らない、つまり『生産性』がない」などと主張したことに対し、「問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現がある」として、杉田氏に今後注意するよう指導したとの見解をホームページに掲載。杉田氏は朝日新聞に対し、「真摯（しんし）に受け止め、今後研鑽（けんさん）につとめて参りたい」などとするコメントを出した。

首相は、視察先の宮城県東松島市で記者団の質問に応じ、杉田氏の主張について「自民党としてすでに見解を表明しているものと承知している」としたうえで、人権や多様性の尊重は「政府・与党の方針だ」と答えた。

これに対し、性的少数者が抱える困難を解消する法整備をめざす全国組織のLGBT法連合会は「杉田氏が『指導』を受け止めた上で撤回も含めた対応を検討しているかなども明らかではないため、不十分であると言わざるを得ない。引き続き厳正な対応を求める」との声明を発表。国民民主党の大塚耕平共同代表は「（首相発言は）極めて表面的で、問題の深刻さについての認識を感じさせない」と批判している。

杉田水脈氏に「謝罪・寄稿撤回を」 LGBT自治体議連 朝日新聞デジタル二階堂友紀 2018年8月3日 18時44分

自民党の杉田水脈（みお）衆院議員が月刊誌で同性カップルをめぐる「子供を作らない、つまり『生産性』がない」などと主張した問題で、「LGBT自治体議員連盟」は3日、世話人名で、杉田氏の謝罪と寄稿文撤回を求める声明を発表した。週末には各地で抗議活動も予定されており、問題の収束は見通せない。

声明は、自民党が2日に「問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現がある」との見解を出したことにより一定の評価をした上で、杉田氏について「寄稿文で傷つけられたLGBT、子どものいない家族や女性、障がいや病気などにより経済的自立が困難な人々に謝罪し、寄稿文を撤回すべきだ」と訴えた。同党が口頭注意による「指導」ととどめたことから、党規約に基づく処分も求めた。

議連の世話人は、同性愛者であることを公言している石川大我・東京都豊島区議ら、性的少数者の当事者5人。超党派の地方議員約280人が活動に参加しているという。

同党内では谷川とむ衆院議員が…

LGBT、特命委員会で稲田氏訴えたが 自民の理解遠く 朝日新聞デジタル二階堂友紀 2018年8月3日 08時47分

自民党の杉田水脈衆院議員が同性カップルを念頭に「生産性がない」などと主張した問題。LGBT（性的少数者）の人権意識を欠いた主張はなぜ起きたのか。

自民党には、夫婦と複数の子どもがいる家族の形を「伝

統的な家族」として重んじる議員が多い。選択的夫婦別姓にさえ「家族の崩壊につながる」との反発があり、同性愛者の権利擁護には否定的だった。



15年、東京都渋谷区の同性パートナー公認制度をめぐる開かれた「家族の絆を守る特命委員会」では、「考えるだけでぞっとする」「嫌だと言う権利もある」と差別発言が続いた。

だが、性的少数者の権利保護を…

杉田水脈氏がコメント「指導頂いた。真摯に受け止める」 朝日新聞デジタル 2018年8月2日 17時21分



杉田水脈衆院議員

自民党の杉田水脈（みお）衆院議員は2日、同性カップルを念頭に「子供を作らない、つまり『生産性』がない」などとした自身の主張をめぐる党から注意するよう指導されたことについて、朝日新聞の取材に「真摯（しんし）に受け止め、今後研鑽（けんさん）につとめて参りたいと存じます」などとコメントした。

自民党は2日、杉田氏の主張について「（LGBT）問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現がある」として、杉田氏を指導したとの党見解をホームページに掲載した。これに対し、杉田氏は事務所を通じて「自民党性的指向・性自認に関する特命委員会の古屋圭司委員長からご指導をいただきました。真摯に受け止め、今後研鑽につとめて参りたいと存じます」とのコメントを出した。

静観一転、首相に飛び火懸念「杉田水脈氏はチルドレン」 朝日新聞デジタル 2018年8月2日 21時28分

LGBTなど性的少数者をめぐる自民党議員の人権意識を欠いた主張に、反発が広がり、静観の構えだった同党が異例の見解公表に追い込まれた。安倍晋三首相も多様性の尊重を記者団に強調した。しかし、認識のズレは否めず、事態の沈静化は見通せない。

2日午前10時前、自民党の公式ホームページに、「LGBTに関するわが党の政策について」と題する文書が掲載

された。

同党の杉田水脈（みお）衆院議員が寄稿の中で同性カップルを念頭に「子供を作らない、つまり『生産性』がない」などと主張したことへの党見解だった。「問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現」とし、杉田氏を「指導」したという。当選2回の議員の問題発言で、こうした対応が取られるのは極めて珍しい。

午後には、安倍晋三首相が視察先の宮城県東松島市で記者の質問に応じ、杉田氏の問題に初めて言及。人権と多様性の尊重は「政府与党の方針」と強調した。

当初の反応は鈍かった。

寄稿は7月18日発売の月刊誌…

自民党総裁選 L G B T対応が論点に 杉田氏寄稿巡り 3氏に違い

東京新聞 2018年8月4日 朝刊

自民党の杉田水脈（みお）衆院議員が月刊誌の寄稿で性的少数者（L G B T）を「生産性がない」などと表現した問題を巡り、九月の党総裁選に立候補の準備を進めている安倍晋三首相（党総裁）、石破茂元幹事長、野田聖子総務相の三人から関連発言が相次いでいる。発言には温度差もあり、L G B Tに関する考え方や政策は総裁選の論点の一つに浮上してきた。

野田氏は三日の記者会見で、杉田氏の寄稿に「差別、偏見の類いではないか」と苦言を呈した。これまで社会の多様性を重んじる発言をしてきた経緯もあり、総裁選に向けて「自民党はこれまでも多様性を標榜（ひょうぼう）してきたが、国民の望む多様性と合致しているかとの議論があっている」と語り、論点とすることに前向きな姿勢を示した。

石破氏は二日の都内での会合で、杉田氏に注意を促しただけに終わっている党執行部の対応について「平気で人権を傷つけてしまうような言動をおとがめなしと認めることが、自民党の懐の深さだとは思わない」と不満を漏らした。

野田、石破両氏が批判的な言動を強める一方、首相は、杉田氏の寄稿について今のところ「人権が尊重され、多様性が尊重される社会を目指すのは当然。これは政府、与党の方針でもある」と、一般論を語った程度。寄稿の内容の是非には直接触れていない。

杉田氏と、同性愛を念頭に「趣味みたいなもの」と語った谷川とむ衆院議員は、ともに首相の出身派閥の細田派所属。首相の連続三選を支持する二階俊博幹事長が杉田、谷川両氏の発言をことさらに問題視しない姿勢を示していることもあり、首相自身、「身内」への配慮から、発言には慎重にならざるを得ない状況にある。（妹尾聡太）

安倍首相「多様性尊重は当然」 自民杉田氏の L G B T 寄稿で

共同通信 2018/8/2 22:25



安倍晋三首相

安倍晋三首相は2日、自民党の杉田水脈衆院議員（51）＝比例中国ブロック＝が性的少数者（L G B T）への行政支援を疑問視した寄稿に対し「人権が尊重され、多様性が尊重される社会を目指すのは当然だ」と述べ、党の立場と相いれないとの認識を強調した。視察先の宮城県東松島市で記者団に語った。杉田氏は党から指導を受けたとした上で「真摯に受け止め、研さんに努めていく」とのコメントを事務所を通じて発表した。

自民党は「配慮を欠く表現がある」として杉田氏を指導し、1日付で党ホームページ（HP）に掲載した。

首相「人権、多様性の尊重は当然」 杉田氏寄稿で苦言 朝日新聞デジタル 2018年8月2日 15時26分



訪問先の宮城県東松島市で、L G B Tを

めぐる杉田水脈衆院議員の主張などについて記者団の質問に答える安倍晋三首相＝2018年8月2日午後2時27分、仙波理撮影

自民党の杉田水脈（みお）衆院議員（51）＝比例中国、当選2回＝が同性カップルを念頭に「子供をつくらない、つまり『生産性』がない」などと主張した問題について、安倍晋三首相は2日、「人権が尊重され、多様性が尊重される社会をつくっていく、目指していくことは当然のことであろうと思う。これは政府与党の方針でもある」と述べた。

首相は訪問先の宮城県東松島市で記者団の取材に応じ、杉田氏の主張に問題があるとの認識を示した。

自民党は2日、「（L G B T）問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現がある」として、杉田氏に今後注意するよう指導したとの党見解をホームページに掲載する異例の対応をとった。

自民、杉田議員に指導＝安倍首相「人権、多様性を尊重」－L G B T問題

自民党の杉田水脈衆院議員が月刊誌にL G B T（性的少

数者)のカップルは『生産性』がない」との見解を寄稿したことに関し、同党は2日までに、党の見解をホームページで公表した。この中で「問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現がある」として、杉田氏に十分注意するよう指導したことを明らかにした。

同性愛「趣味みたいなもの」＝自民・谷川氏

杉田氏は事務所を通じ、「真摯(しんし)に受け止め、今後、研さんに努めてまいりたい」とのコメントを出した。

これに関し、安倍晋三首相は2日、視察先の宮城県東松島市で記者団に「人権が尊重され、多様性が尊重される社会をつくっていくのは当然のことだ。政府・与党の方針でもある」と述べ、杉田氏の対応は不適切だったとの認識を示した。(時事通信 2018/08/02-18:31)

杉田水脈議員に自民党が指導 「配慮欠く」と異例の見解 朝日新聞デジタル二階堂友紀 2018年8月2日 11時32分



自民党の杉田水脈衆院議員

自民党の杉田水脈(みお)衆院議員(51)＝比例中国、当選2回＝が月刊誌への寄稿で、同性カップルを念頭に「子供を作らない、つまり『生産性』がない」などと主張した問題で、同党は2日、「問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現がある」として、杉田氏に今後注意するよう指導したとの党見解をホームページに掲載した。同党が一般議員の問題発言をめぐり、見解を公表するのは極めて異例だ。

自民党は当初、「寄稿文は議員個人としてのもの」と静観する構えだった。しかし、7月27日に党本部前で大規模な抗議集会が開かれ、今週末にも各地で抗議活動が予定されるなか、党の責任を問う声が高まり、釈明に迫り込まれた。

見解では、2016年に設置した「性的指向・性自認に関する特命委員会」で党内議論を行い、「性的な多様性を受容する社会の実現」をめざし、「正しい理解の増進を目的とした議員立法の制定に取り組んでいます」と強調。16年参院選と17年衆院選の公約に掲げていることも挙げた。

その上で杉田氏の寄稿について「個人的な意見」と留保しつつ、不適切な「表現」があると認め、「今後、十分に注意するよう指導した」と明かした。党規約に基づく処分ではない。

寄稿は7月18日発売の月刊誌「新潮45」が掲載。SNSでは「優生思想だ」といった批判が広がったが、杉田氏は自身のツイッターで、党内の「大臣クラスを始め、先輩方」から「間違ったこと言っていないんだから、胸張ってればいいよ」「杉田さんはそのままでいいからね」と声をかけられたとし、「自民党の懐の深さを感じます」と投稿した

(23日に削除)。

二階俊博幹事長は24日の記者会見で「人それぞれ政治的立場、色んな人生観もある」と述べ、党として問題視しない考えを示した。しかし、石破茂・元幹事長や小泉進次郎・筆頭副幹事長が相次ぎ批判するなど、波紋が広がっていた。

杉田氏は12年衆院選で日本維新の会の公認で初当選。14年には次世代の党から立候補したが落選した。以前から今回と同様の主張を公然と繰り返していたが、自民党は昨年の衆院選で公認。比例中国ブロックで比例単独候補の最上位とされ、当選した。(二階堂友紀)

杉田氏の寄稿「理解と配慮不足」 LGBT、自民が見解 朝日新聞デジタル 2018年8月2日 12時02分

自民党が発表した見解「LGBTに関するわが党の政策について」

わが党のLGBTに関する政策については、「性的指向・性自認に関する特命委員会」において議論され、平成28(2016)年5月、「性的指向・性自認の多様なあり方を受容する社会を目指すためのわが党の基本的な考え方」が取りまとめられ、同年7月の参議院選挙及び昨年の衆議院総選挙の公約に明記されたところです。わが党は、公約に掲げたように性的な多様性を受容する社会の実現を目指し、性的指向・性自認に関する正しい理解の増進を目的とした議員立法の制定に取り組んでいます。

今回の杉田水脈議員の寄稿文に関しては、個人的な意見とはいえ、問題への理解不足と関係者への配慮を欠いた表現があることも事実であり、本人には今後、十分に注意するよう指導したところです。

わが党は、今後ともこの課題について、各国の法制度等を調査研究しつつ、真摯(しんし)かつ慎重に議論を進め、議員立法の制定を目指していく所存です。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

LGBTに冷たい自民 謝罪、撤回求めず口頭指導

東京新聞 2018年8月3日 朝刊

自民党の杉田水脈(みお)衆院議員が、子供をつくらない性的少数者(LGBT)は「生産性がない」などと月刊誌「新潮45」に寄稿したことを巡り、同党は2日までに「配慮を欠いた表現があり、指導した」とする見解を党ホームページ(HP)に掲載した。杉田氏の寄稿そのものに加え、二階俊博幹事長が寄稿を問題視しない考えを示したことが世論の反発を強め、ようやく指導を公表する形で事態収拾に乗り出したが、謝罪や撤回までは求めず、人権問題に対する意識の低さを露呈した。(金杉貴雄)

自民党では谷川とむ衆院議員が七月二十九日のインターネット放送局「Abema TV」の番組で、同性婚のための法整備を認めず、同性愛を念頭に「趣味みたいなもの」

と語り、性的少数者に対する無理解な発言が続いている。
杉田、谷川両氏は、いずれも当選二回で比例代表選出。
ともに安倍晋三首相の出身派閥・細田派所属だ。

**自民党・杉田水脈氏の
「新潮45」への寄稿(抜粋)**

- LGBTだからといって、実際そんなに差別されているものなのでしょうか
- 「生きづらさ」を行政が解決してあげることが悪いとは言いません。しかし、行政が動くということは税金を使うということです。例えば、子育て支援や子供ができないカップルへの不妊治療に税金を使うのであれば、少子化対策のためにお金を使う大義名分があります。しかし、LGBTのカップルのために税金を使うことに賛同が得られるのでしょうか。彼ら彼女らは子供を作らない、つまり「生産性」がないのです。そこに税金を投入することが果たしていいのかどうか
- 「常識」や「普通であること」を見失っていく社会は「秩序」がなくなり、いずれ崩壊していくことにもなりかねません



杉田水脈氏

杉田氏の寄稿について、自民党は一日付のHP上の見解で「(杉田氏の) 個人的な意見」としつつ、「理解不足と関係者への配慮を欠いた表現があることも事実」と認め、「本人には今後、十分注意するよう指導した」と発表した。

杉田氏は二日、事務所を通じて発表したコメントで「真摯(しんし)に受け止め、今後研さんに努めていく」としたが、撤回や謝罪はしなかった。党の「指導」は、党性的指向・性自認に関する特命委員会の古屋圭司委員長の口頭でのものだった。

杉田氏の寄稿に関し、二階氏は先月二十四日の記者会見で「いろんな考え方の人がいて自民党は成り立っている」「人それぞれ、いろんな人生観もある」と語り、容認とも受け取れる姿勢をみせていた。

同二十七日には党本部前で、LGBTの当事者ら五千人以上(主催者発表)による抗議デモも行われたが、執行部は公に寄稿内容を批判していなかった。

石破茂元幹事長は二日、都内での会合で「平気で人権を傷付けてしまうような言動を認めること、おとがめなしが自民党の懐の深さだとは思わない」と、執行部の対応が甘いとの認識を示した。首相は同日、視察先の宮城県内で記者団に「人権が尊重され、多様性が尊重される社会を目指すのは当然だ。これは政府、与党の方針でもある」と語った。

公明の山口代表、自民に苦言 同性愛への谷川衆院議員の発言で

共同通信 2018/8/2 13:26

公明党の山口那津男代表は2日の記者会見で、自民党の谷川とむ衆院議員が同性婚を「趣味みたいなもの」と発言したことに対し「自民党の考えを議員に徹底するよう党として対応してほしい」と苦言を呈した。

谷川氏に対しても「党と認識がずれている。よく省みる必要がある」と強調した。

自民党の稲田朋美元防衛相が護憲派を念頭に「憲法教」とやゆしたことには「誤解を招かないよう説明してほしい」と述べた。

野田女性活躍相 杉田議員発言や東京医大を批判

毎日新聞 2018年8月3日 17時19分(最終更新 8月3日 18時32分)



野田聖子総務相

野田聖子女性活躍担当相は3日の記者会見で、自民党の杉田水脈衆院議員(比例代表中国ブロック)や谷川とむ衆院議員(同近畿ブロック)が性的少数者(LGBTなど)を否定するような寄稿や発言をしたことについて、「政府、党の取り組みの流れに水を差すような話でよろしくない。差別・偏見の類いの発言との懸念がある」と批判した。杉田氏が月刊誌への寄稿でLGBTを「生産性がない」としたことに対しては、「人間の営みとして、生産性という言葉は適切だと思わない」と強調した。

また野田氏は、東京医科大が女子受験生の成績を一律で減点するなど男子学生を優遇していたことに関し「女子を不当に差別する入学者選抜は絶対に認められない」と訴えた。

一方、立憲民主党の長妻昭代表代行は3日、杉田氏らの発言について「差別に当たり、国会議員としてあるまじき発言だ」と批判。東京医科大の問題についても「性差による差別問題として国会で取り上げる」と語った。社民党の福島瑞穂副党首は同日の野党合同ヒアリングで、他の大学でも同様の問題がないか調査するよう文部科学省に求めた。

【浜中慎哉、立野将弘】

野党、LGBT差別発言を批判＝大塚氏「自民の潜在的体質」

自民党議員からLGBT(性的少数者)に対する差別的発言が相次いでいることについて、野党各党は2日、「自民党という組織の潜在的体質ではないか」(国民民主党の大塚耕平共同代表)などと一斉に批判した。

立憲民主党の枝野幸男代表は、同性カップルは「『生産性』がない」と月刊誌に寄稿した自民党の杉田水脈衆院議員を同党が指導したと公表したことについて、「遅きに失した。問題は杉田氏が真摯(しんし)に受け止めて撤回、おわび

するかどうかだ」と衆院議員会館で記者団に述べた。

国民の玉木雄一郎共同代表も長崎市での記者会見で「極めて甘い対応だ。自民党の認識の甘さを露呈しているのではないか」と述べ、党として杉田氏を処分すべきだと訴えた。

大塚氏は記者会見で、自民党の谷川とむ衆院議員が同性愛を「趣味みたいなもの」と発言したことに関し、「少数者や価値観の多様性に全く配慮のない発言だ」と非難。日本維新の会の松井一郎代表（大阪府知事）は「国会議員は一度、頭の中でそしゃくしてから発言すべきだ」と苦言を呈した。（時事通信 2018/08/02-18:31）

「官邸官僚」が出した紙に驚く各省 首相も了承なのか…
朝日新聞デジタル岡本智、伊藤舞虹 座小田英史、松浦祐子、
福岡大介 2018年8月5日17時12分



首相

を取り巻く主な「官邸官僚」

自民党総裁選2018 安倍政権と官僚（1）

自民党総裁選では、「安倍政権と官僚」が問われる。政と官のいまをみる。

安倍内閣が24日に承認した省庁人事で、内閣府政策統括官の新原（にい）はら）浩朗（ひろあき）が経済産業省の経済産業政策局長に就いた。近い将来の事務次官候補が座る枢要ポストだ。

1984年に入省した新原にとっては古巣への凱旋（がいせん）となった。首相の安倍晋三、その政務秘書官で先輩の今井尚哉（経産省、82年入省）が手腕を高く評価。働き方改革や幼児教育の無償化など、政権の目玉政策を進めてきた。政権5年半で大きく様変わりした霞が関で力を持つ「官邸官僚」の象徴的な一人だ。

3カ月前。消費税を来年10月に10%に引き上げる際の対策を検討する省庁横断の特命チームが内閣府で初会合を開いた。顔合わせのつもりで集まった関係省庁の局長らは、配られた1枚の紙を見てのけぞった。

「検討事項（案）」として、増税に伴う駆け込み需要や反動による消費の落ち込みについての対応策が13項目にわたって列挙。増税後の値引きセール推奨、自動車減税、合理的な購買行動の推奨――。それぞれに担当省庁の割り振

りまで記してあった。まとめたのは新原だ。

消費増税は幅広い業種や消費者に影響するため、関係する省庁は多いが、新原がまとめた紙は担当する財務省や経済産業省の知見を集約したものではない。対応策は「再調整」という扱いにはなったが、特命チーム関係者の間では、安倍と新原の間で「もう話がついているのでは」との臆測が広がった。

安倍が政権に復帰して以降目立つのは、新原のように安倍に近い官僚らが主導して政策の方向性を決めていくスタイルだ。首相秘書官の今井や佐伯（さいき）耕三（経産省、98年入省）、内閣情報官の北村滋（警察庁、80年入庁）、官僚OBの首相補佐官である長谷川栄一（経産省、76年入省）、和泉洋人（旧建設省、76年入省）はこの5年半、変わらず安倍の周辺にいる。

安倍と以心伝心の「官邸官僚」たちの指示は、省庁幹部から「首相の威光」と受け止められる。それは「最強官庁」と呼ばれた財務省も例外ではない。（岡本智、伊藤舞虹）

「官邸は防波堤の佐川氏を評価」

3月10日未明、森友学園に関する決裁文書の改ざん前文書のコピーが大阪地検から財務省に届いた。朝日新聞が2日に書き換えの疑いを報じて以降、同省は関係職員の聞き取りを進めたが、全体像がつかめない。すでに、理財局の複数の職員が地検の捜査を受け、聴取内容を口止めされていた。財務省は地検に頼み込み、原本をコピーさせてもらうしかなかった。

改ざんは14文書におよび、首相の安倍晋三の妻昭恵に関する記述や複数の政治家秘書との関わりなどが、ことごとく削除されていた。「少し手直ししたというレベルではなく、がくぜんとした」（理財局幹部）。2日後、財務省は初めて書き換えの事実を認めた。

だが、改ざんを主導した当時の財務省理財局長、佐川宣寿（のぶひさ）（1982年入省）はその後の国会での証人喚問でも、刑事訴追の恐れを理由に答弁拒否を繰り返し、官邸の関与はきっぱりと否定。真相解明に後ろ向きな姿勢に世論は反発したが、「官邸は昨年の国会で防波堤になっている佐川を評価していた」（財務省幹部）。佐川は昨夏の人事で次官級の国税庁長官に昇格。対照的に、売却価格の算定について国会でしどろもどろの答弁を続けた当時の国土交通省航空局長、佐藤善信（82年入省）は退官となった。

首相官邸の意向を反映させるため、各省庁の幹部約600人の人事は、14年に発足した内閣人事局が判断する。正副官房長官ら主要幹部の7割の賛同を得られなければ各省の人事案を受け入れないという「7割ルール」で運用されている。

今夏の人事で退任が決まった金融庁長官の森信親（80年入省）は、官房長官の菅義偉の信任が厚く、3年の長期にわたり務めた。一方、前任の細溝清史（78年入省）は1年で交代した。農業改革が持論の菅の協力依頼を断った

ためだ。

人事権を握った官邸に、各省庁は従うしかなく、「官邸官僚」を除く官僚は萎縮と忖度を余儀なくされる。横行する「官邸人事」は、政権と沖縄県の対立が続く米軍普天間飛行場（同県宜野湾市）の辺野古への移設をめぐっても行われた。

16年1月、国交省がこんな人事を発令した。「防衛省審議官 下司弘之▽同沖縄防衛局次長 遠藤仁彦」。両氏を含む港湾局出身の技官6人を防衛省に異動させる人事。「官邸官僚」の一人で、菅の側近とされる国交省OBの首相補佐官、和泉洋人が中心になって練られた。

当時は県の抵抗で移設先の埋め立て工事が滞っていた。防衛省関係者は「官邸からいつまでやっているんだと怒られた。そこで、和泉さんらが埋め立てのプロを国交省から呼び寄せた」と解説する。これ以降、県は工事の手順などをめぐり、数十回の行政指導をしたが、国側は工事を加速。国交省幹部は「専門家だけに、県や住民との協議はなるべく少なく、法律すれすれの行動を取れる」と話す。

今夏の国交省人事では、防衛省に部下を送り込んだ港湾局長の菊地身智雄（85年入省）が技術系最高ポストの技監に昇格。旧運輸省出身者の技監就任は初めてだ。後任の港湾局長には埋め立てを指揮した下司（同）が就く。「論功行賞」とささやかれた。

国交省幹部はいう。「以前は省内の力学にそった人事ができたが、安倍政権で完全に変わった。官邸の意を受けた政策を成し遂げた人こそが評価される」
責任負わない「政治主導」

官邸が官僚を従える力の源泉は人事だけではない。
安倍政権は、重要案件ごとに内閣官房や内閣府に省庁横断の組織や会議を次々と設置。各省庁から政策立案の権限を奪い、一部の「官邸官僚」が政策を動かすことが常態化している。

安倍が掲げた「人づくり革命」を具体化するため、昨年9月に立ち上げた「人生100年時代構想会議」は、その典型だ。内閣官房に置かれた「推進室」には各省庁から約30人が集められた。

政策の骨格は内閣府政策統括官だった新原浩朗や首相秘書官の今井尚哉らが検討。財政悪化につながる3～5歳児の教育・保育の無償化や、消費税の使途拡大による財源確保を財務省にのませ、安倍の衆院解散表明にあわせて打ち出した。

結論を急ぐあまり、担当省庁による十分な政策検証は置き去りにされた。無償化で待機児童が逆に増えるなどの批判が噴出して、官邸は公約実現に向けて突き進んだ。

昨年末、改革の大きな道筋がつくと、推進室の多くの職員が席を引き払った。寄り合い所帯で作業が終われば散っていく組織の責任はあいまいになりがちだ。政策決定を主導する首相秘書官や補佐官も、国会答弁に立つことはまず

ない。

官邸主導は本来、二大政党間で政権交代があることを前提に、短期間で政治の結果を出せる仕組みをめざした姿だった。しかし、5年半を超える長期政権で政権交代の緊張感は薄れた。「政治主導」を掲げながら、財務省による公文書改ざんなど、大きな不祥事が起きても誰一人、政治責任を負わないいびつな構造ができてしまった。

組織防衛を本能とする官僚たちはいま、安倍に近い甘利明が自民党行政改革推進本部長として旗を振る「省庁再々編構想」におびえる。国家予算の3分の1を使う厚生労働省の解体などが現実味を帯びつつある。「それはそうだな」。巨大官庁の分割案に安倍も受け入れる姿勢だ。（座小田英史、松浦祐子、福岡大介）

官邸下請け化で若手「成長戦略疲れ」 経産官僚たちの夏
朝日新聞デジタル 笹井継夫、伊藤舞虹、関根慎一 2018年8月5日 17時19分



の下請け化が進む経産省

自民党総裁選2018 安倍政権と官僚（2）

「総理の訪中時に、中国企業との覚書締結を披露したい。協力してほしい」

今年5月以降、経済産業省貿易経済協力局長の石川正樹は、民間企業を数十社も訪れてはそんな依頼を繰り返していた。首相の安倍晋三が今秋に予定する訪中のときに打ち出す経済協力の案件をかき集めるためだ。現地で開く交流フォーラムの事務局長は首相補佐官の和泉洋人が務め、「日中の企業間で20ぐらいの覚書を必ず用意したい」（政府関係者）という。

安倍政権では、日米、日中、日ロと、首脳外交の予定が持ち上がるたびに、「手土産」づくりのため、経産官僚が企業に協力を要請する光景が定着している。そこでは、経済合理性に基づいた投資戦略などの検討より、目先の案件集めが優先され、ある企業幹部は「後で嫌がらせを受けないよう、ある程度お付き合いせざるをえない」とこぼす。経

産省内からは「企業からも『お付き合いしないといけないですか』と言われる。ほとんどは中身がなく意味がない」と疑問の声が漏れる。

「経産省内閣」と呼ばれてきた安倍政権。首相の最側近とされる首相秘書官の今井尚哉や、首相補佐官と内閣広報官を兼ねる長谷川栄一ら経産省出身の官僚が重用されてきた。第2次安倍政権発足時には、財務省の影響力が強い経済財政諮問会議とは別に、「日本経済再生本部」を立ち上げ、前経産次官の菅原郁郎や前経済産業審議官の柳瀬唯夫ら経産官僚主導で成長戦略もまとめた。

自民党総裁選では、「安倍政権と官僚」が問われる。政と官のいまをみる。

しかし、今井や長谷川は経産省…

独自分析より政策正当性裏付け 官庁エコノミストの苦渋

朝日新聞デジタル大日向寛文、松浦祐子 2018年8月5日 17時20分



行政の中立性が疑問視された案件

内閣法制局の長官人事(2013年)
慣例を崩して長官に外務官僚を起用し、集団的自衛権の行使を認めるよう、従来の憲法解釈を変更

消費増税の再延期(16年)

首相側近の秘書官がリーマン・ショック前に似た経済状況を印象づける統計資料を作り、再延期の地ならしに

森友学園問題(17年)

首相の妻が名誉校長を務める学園に国有地を大幅値引きして売却。その後、財務省は関連する決裁文書を改ざんし、交渉記録を廃棄

加計学園問題(17年)

首相の友人が運営する加計学園の獣医学部新設について、文部科学省が内閣府から「総理のご意向」などと言われたと記録された文書が発覚

裁量労働制の不適切データ問題(18年)

首相が裁量労働制で働く人の労働時間について「一般労働者よりも短いというデータもある」と国会で答弁。その後、比較できないデータを比べていたことが判明

行政の中立性が疑問視された案件

自民党総裁選2018 安倍政権と官僚(3)

7月上旬、官房長官の菅義偉の秘書官から内閣府に1本の電話が入った。「激化する貿易摩擦が日本経済に与える影響を分析した資料が欲しい」

米中の「貿易戦争」への懸念から、日本でも株価が下落し、首相官邸は景気の行方に神経をとがらせていた。ところが、内閣府の回答は「分析していない」。すると、秘書官はこう言い残して電話を切ったという。「もう経済分析をやるのはやめたらどうか」

経済学の専門知識を駆使して経済を分析し、政策を提言する「官庁エコノミスト」。内閣府の前身、旧経済企画庁は

かつて、経済分析の専門家を多く抱え、香西泰・元政府税制調査会会長や岩田一政・元日銀副総裁ら数々の名エコノミストを輩出してきた。だが、その地盤沈下が止まらない。自民党総裁選では、「安倍政権と官僚」が問われる。政と官のいまをみる。

その理由について、旧経企庁と…

財務省避ける東大生 不祥事の責任、政治家ではなく官僚 朝日新聞デジタル栗林史子、生田大介 2018年8月5日 17時20分



キャリア官僚の採用試験の申込者数

自民党総裁選2018 安倍政権と官僚(4)

7月4日、国家公務員の採用試験に合格した学生たちが志望先の中央省庁を回って面接を受ける「官庁訪問」が始まった。

森友学園の公文書改ざん問題や次官のセクハラ問題で揺れた財務省にも、開門前から十数人の学生が列を作った。東京大学の男子学生は「事前の説明会では仕事への熱意にあふれる人が多く、魅力的だった」と志望理由を話す一方、「一連の不祥事で他省庁に志望を変えたり、勤務時間が長いからと、民間企業に流れた友人もいる」と語った。

東大新聞社が集計した昨年度末の東大の学部卒業生の就職先をみると、民間は1位が三菱UFJ銀行の21人、2位がコンサルティング会社アクセンチュアの20人。すでに昨年の通常国会では森友問題が激しく追及されており、中央省庁では財務省は6位の11人と、最多だった前年より6人も減った。財務省幹部は「今年は志望者が少なく、『大蔵接待汚職』以来の危機的状況だった」と話す。

安倍政権では政治主導、官邸主導を進めながら、問題が起きると、官僚に責任を押しつけ、政治家は責任を取らない、という対応が繰り返されてきた。最近でも、財務省の改ざん問題で辞任したのは当時の理財局長の佐川宣寿で、大臣である財務相の麻生太郎は続投。裁量労働制の不適切データ問題でも厚生労働省幹部が処分される一方、厚労相の加藤勝信の責任は問われていない。

自民党総裁選では、「安倍政権と官僚」が問われる。政と官のいまをみる。

そんな光景が、学生の公務員離…

安倍首相がほしい部下

2018/8/5 2:00 情報元日本経済新聞 電子版

歴史上の人物で、自分の部下にしたい人は誰ですか――。『全世界史』などの著者で立命館アジア太平洋大学の学長、出口治明氏はこんな問いを経営者らに投げる。ブルータスや明智光秀など裏切り者は避けるとして、どんなタイプの部下がほしいか。

この質問を周囲から聞かれた安倍晋三首相は明治期の陸軍軍人、児玉源太郎を挙げたという。



西日本豪雨の対策本部会議で発言する安倍首相。左は菅官房長官（7月29日午後、首相官邸）＝共同

児玉は日露戦争で満州軍の総参謀長として大山巖総司令官を補佐し、勝利の立役者となった。桂太郎首相らに早期講和を唱えるなど情勢を冷静に判断したことでも知られ、軍事と政治の両面に通じた。児玉の出身は安倍首相の地元・山口県。首相の座には届かず、上司に仕える部下の立場で職務を果たした。

名参謀という点では、今なら菅義偉官房長官がこのタイプかもしれない。霞が関ににらみを利かせ、首相を支える役割に徹する。首相が9月の自民党総裁選で圧勝し、来年夏の参院選を乗り切って宿願の憲法改正をなし遂げるためには、知将の役割が重要になる。

ライフネット生命の創業者でもある出口氏がほしい部下として推すのが中国・唐の魏徴（ぎちょう）だ。「上司の悪口を言い続けた人です。悪口を毎日言ってくれるので、上司が誤ることはない。魏徴がいたら、仕事は楽だろうなあ」。魏徴は唐の第2代皇帝、太宗（李世民）にズバズバと忠告した「諫言（かんげん）の士」として有名だ。太宗は「貞観の治」と呼ばれた太平の世を実現した。

リーダーが周りをイエスマンばかりで固めるのは「危険だ」とオバマ前米大統領も3月、来日中の講演で説いた。大統領の在任中はあえて反対意見に耳を傾けるようにしていたと明かし、政権高官を相次いで更迭するトランプ大統領を暗に批判した。

安倍首相もいろいろな人から意見を聞くよう努めており「イエスマンなんていない」と感じている。菅官房長官ら周りから率直な意見をぶつけられるらしい。

しかし総裁選で首相に挑む石破茂元幹事長は自民党内の

息苦しさを指摘する。7月30日のラジオ番組で「自民党は自由にモノが言えたが、今は言っても取り上げてもらえないことがある。何か言うにとらまれる。付度（そんたく）の集合体みたいだ」と批判した。安倍1強の副作用か、自民党には魏徴が現れにくくなっている。

官僚との関係はどうだろう。岸田文雄政調会長は7月21日の講演で、首相官邸の力が強い現状に「トップダウンかボトムアップか。使い分けが大事だ。最近はトップダウンが効きすぎて役人は萎縮しているのではないかと語った。

首相官邸によるトップダウンの仕掛けの一つは2014年に発足した内閣人事局だ。省庁の幹部人事を一元的に管理する。面従腹背を防ぐ狙いだが、官僚が首相官邸の顔色ばかりうかがうようになったり、やる気をなくしたりしたら良くない。ましてや付度して不正を働くのは論外だ。

「ポスト安倍」に向けた論点は、政策だけでなく官邸1強のシステムや政治手法に及んでくる。

首相も読んだ太宗の言行録『貞観政要』には、トップは安泰になると気を緩めて聞く耳を持たなくなり国が減びる、と魏徴が説く場面が出てくる。リーダーがイエスマンばかり集めないように心がけても、時間がたつといつのまにか増えてしまうのは古今東西の世の常でもある。首相がさらに長期政権を築くには、知将と諫言の士の2つのタイプの部下が必要になる。

（政治部次長 佐藤賢）

産経新聞 2018.8.5 22:57 更新

【自民党総裁選】細田派が研修会 首相の圧勝へ引き締め問題続出「しっかり取り組み」



自民党最大派閥の細田派の研修会であいさつをする細田博之会長＝5日午後、長野県軽井沢町のホテル

自民党の最大派閥である細田派（清和政策研究会、94人）は5日、長野県軽井沢町で研修会を開いた。9月の総裁選で連続3選を目指す安倍晋三首相（党総裁）の出身派閥だが、最近では細田派議員の言動が批判される場面も目立っている。細田博之会長は首相の圧勝に向け、派の結束を呼び掛けた。

「一致結束がなければ、総裁選に対応することは難しい。われわれ一人一人の努力が必要だ」

細田氏は研修会で、出席者を諭すように訴えた。

細田派の使命は、首相が3選後に強固な政権基盤を作るため、総裁選で圧勝することだ。首相は、同派を含む主要4派などが支持し、投票資格を持つ国会議員の7割を固め

ているが、圧勝のカギを握るのは、国会議員票と同じ比率を持つ議員票の行方だ。

首相は西日本豪雨災害の対応を優先し、先月22日の通常国会閉会以降も、地方行脚の機会が制約されている。首相を支持する4派は今日3日、衆院の全289選挙区ごとに議員票を集める責任者を置くことを決めたが、その中でも主体的に動かなければならないのは、党内7派で最大の人数を誇る細田派だ。

ところが、足元では派の議員がマイナス要因を生み出す事態も頻発している。穴見陽一衆院議員は6月の衆院厚生労働委員会で、肺がん患者に「いいかげんにしろ」とヤジを飛ばし、嚴重注意を受けた。性的少数者（LGBT）への行政支援に疑問があると月刊誌に寄稿した杉田水脈衆院議員へのバッシングも盛んになっている。両氏は研修会を欠席した。

同派事務総長の下村博文元文部科学相は研修会で「安倍総裁の出身派閥として、しっかりとわれわれが取り組んでいかなければならない」と引き締めた。（原川貴郎）

自民党総裁選 細田前総務会長 安倍首相の3選へ結束呼びかけ

NHK2018年8月5日 21時34分

来月の自民党総裁選挙を前に、安倍総理大臣の出身派閥、細田派は研修会を開き、会長を務める細田前総務会長が安倍総理大臣の3選に向け結束を呼びかけました。安倍総理大臣の出身派閥で、党内最大の94人の国会議員が所属する細田派は5日、長野県軽井沢町で研修会を開きました。

この中で、会長を務める細田前総務会長は「昔はなかなか総裁を出せない派閥だったが、小泉総理大臣が誕生したあとは政権の中核を担う政策集団になった。しかし、一致結束がなければ総裁選挙に対応することはなかなか難しい」と述べました。

そのうえで、「安倍総理大臣は、外交、防衛、産業政策など本当に一生懸命頑張っており、安倍総理大臣を支えて、今後も立派な日本の姿を実現していきたい」と述べ、安倍総理大臣の3選に向け結束を呼びかけました。

このあと、細田氏は記者会見し、「幅広く協力をいただかなければならないので、安倍総理大臣の立候補表明後に、さまざまな政策グループが協力して政策の重点項目をまとめていきたい」と述べました。

産経新聞 2018.8.5 22:47 更新

【自民党総裁選】野田聖子総務相が政策本を発表 「世界標準の国」目指す 出馬になお意欲

9月の自民党総裁選への出馬に意欲を示す野田聖子総務相は5日、地元の岐阜市で、自身の政策をまとめた新著を発表した。平成52（2040）年を見据え、女性や高齢

者、障害者、地方が多様性を持てる社会を実現し「世界標準の国」を目指すと訴えている。



野田聖子総務相（桐山弘太撮影）

新著のタイトルは「みらいを、つかめ 多様なみんなが活躍する時代に」。本の帯には「わたしが総理大臣になったら」とも記している。8日に発売する。

新著では、重視する政策の基本に「落ち着いて、やさしく、持続可能な国」を打ち出し、子や孫の世代が第一線で活躍する2040年を見据えて「未来への投資」を進めるよう求めた。

具体策としては、両親合わせて2年間の育児休業や2歳児からの幼稚園入園を提唱。女性活躍社会と幼児教育を一元的に所管する「女性活躍・子供・家庭庁」の創設を求めた。持論とする選択的夫婦別姓の実現も掲げた。憲法改正は「未来志向の観点から検討が深められるべき」としたが、具体的な改憲項目には触れなかった。

野田氏は総裁選の出馬に必要な20人の推薦人を確保していない。新著発表後、記者団には「本に共鳴した仲間が、推薦人になってくれれば理想だ」と述べた。

産経新聞 2018.8.5 22:30 更新

【自民党総裁選】石破茂氏「首相を応援しなかったら“冷や飯”、おかしい」



自民党の石破茂元幹事長（三尾郁恵撮影）

自民党の石破茂元幹事長は5日放送の読売テレビ番組で、9月の総裁選で安倍晋三首相（党総裁）を支持しなければ内閣改造・党役員人事で冷遇されるとの見方があると指摘して「そういう自民党はあまり見たことがない。同じ党员なのに（首相を）応援しなかったら『冷や飯』はおかしい」と語った。石破氏は「無投票は絶対にダメ」とも述べ、出馬に重ねて意欲を示した。

自民党総裁選 石破氏「一強に挑む」強調 戦前の「反軍演説」自らと重ね

東京新聞 2018年8月3日 朝刊

斎藤隆夫元衆院議員の記念館を訪問した自民党の石破元幹事長＝7月28日午後、兵庫県豊岡市で



自民党総裁選に出馬予定の石破茂元幹事長が、太平洋戦争が開戦する前年の帝国議会で斎藤隆夫衆院議員（当時、以下同じ）が軍国主義を厳しく批判した「反軍演説」に、繰り返し言及している。総裁選で石破氏は安倍晋三首相の「一強」体制のひずみを訴える戦略をとっており、斎藤氏と自らを重ね合わせながら、強い相手に挑む構図をアピールする狙いがあるようだ。

斎藤氏は一九四〇年二月の帝国議会代表質問で米内光政首相を追及。日中戦争に疑問を示し「聖戦の美名に隠れて国民的犠牲を閑却(かんきやく)(なおざりにすること)し、(中略)国家百年の大計を誤るようなことがありましたら、政治家は死してもその罪を滅ぼすことはできない」と訴えた。

軍部の怒りを買って発言の三分の二が議事録から削除され、斎藤氏は翌月、議員を除名された。同年十月、大政翼賛体制が確立し、政党は解体した。

石破氏は講演やテレビ番組、派閥会合などで反軍演説にたびたび言及し「暗殺の危険もあっただろうが、それでも本当のことを言わないといけない。本当に感動する。自分はまだまだだ」と称賛。先月二十八日には兵庫県豊岡市にある斎藤氏の記念館を訪れるなど、反骨の政治家に共感する姿勢を示している。

その上で石破氏は、今の自民党は自由に意見を言えない雰囲気があるとの認識も示し「打破しなければ自民党ではない」と強調。総裁選での支持を訴えている。（中根政人）

竹下派、石破氏支持が濃厚 総裁選対応、衆参一本化
共同通信 2018/8/4 20:45



那覇市で講演する竹下亘自民党総務会長＝4日午後

自民党第3派閥の竹下派（55人）会長の竹下亘党総務会長は9月の総裁選対応について、衆参を一本化する意向を周囲に伝えた。幹部が4日、明らかにした。同派参院側（21人）は石破茂元幹事長を推す見通しで、派閥全体で石破氏支持を打ち出す可能性が濃厚になった。ただ衆院側（34人）では連続3選を目指す安倍晋三首相（党総裁）を支持する声も根強く、例外扱いを容認する案が有力となっている。

竹下氏は7日に衆参から別々に意見聴取し、8日に派閥幹部から一任を取り付けた上で、9日に長野市で行う派閥会合で態度表明する段取りを描く。

産経新聞 2018.8.4 22:47 更新

【自民党総裁選】竹下亘総務会長「活発な政策論争の総裁選に」 石破氏支持の見方強まる



那覇市で講演する竹下亘自民党総務会長＝4日午後

自民党竹下派（平成研究会、55人）会長の竹下亘総務会長は4日、那覇市で講演し、9月の総裁選について「建設的な議論を積み重ね、将来の日本の姿を国民の頭に思い描いていただける総裁選にしなければならない」と述べ、候補者同士の活発な政策論争を求めた。9日に派の対応を決めることも正式に表明した。

竹下氏は誰を支持するかについて「迷っていないといえど嘘になる」と述べた。竹下派所属の参院議員（21人）は石破茂元幹事長を独自に支持する方針だ。竹下氏も総裁選で緊張感のある論争が必要との見解を周囲に示しており、石破氏支持に動くとの見方が強まっている。

竹下氏は衆院側を自主投票とはせず、派の対応を明確にする意向だ。2日に派に所属する衆院議員から意見聴取したのに続き、7日に参院議員からも意見を聞いた上で最終判断する。

衆院側は安倍首相支持多数＝竹下氏の判断焦点－自民総裁選

自民党竹下派（55人）は2日、会長の竹下亘党総務会長ら幹部が東京都内の派閥事務所で、所属する衆院議員を対象に9月の総裁選への対応について意見を聴取した。出席者からは安倍晋三首相（63）を支持する声が多く上がった。参院側は石破茂元幹事長（61）を推しており、竹下氏の判断が焦点となる。

竹下派の衆院議員は34人。2日は約20人が出席した。幹部によると、首相に近い会長代行の茂木敏充経済再生担

当相らは安倍政権の経済運営や対米・対ロ外交を評価し、「代える理由はない」と主張。「石破氏を支持して負ければ（首相の総裁任期が続く）3年間苦勞することになる」と参院側をけん制する声も出た。

一方、「健全な総裁選を行うべきだ」として、参院側が「安倍1強」継続に危機感を持つことに理解を示す声や、竹下氏に対応を一任すべきだとする意見も出た。竹下氏は「派内調整に全力を尽くす」と述べるとともに、「3年後はわが派も候補を出す」と強調した。

聴取は7日も続行され、残りの衆院議員と参院議員21人からそれぞれ意見を聴く。これを踏まえ、8日の役員会で派の方針を決め、長野市で9日に開く例会で公表する運びだ。参院側を束ねる吉田博実党参院幹事長は役員会に先立ち、竹下氏と最終調整する。（時事通信 2018/08/02-19:53）

総裁選”迷っていないと言えようそに” 竹下派9日表明へ調整

NHK8月4日 16時23分



自民党総裁選挙への対応について、竹下派の会長を務める竹下総務会長は「どの候補を支持するか、迷っていないと言えようそになる」としたうえで、来週9日に派閥としての対応を表明することを目指し調整を急ぐ考えを重ねて示しました。

9月の自民党総裁選挙をめぐって、党内第3派閥の竹下派は参議院側が石破元幹事長支持で調整を進めている一方、衆議院側には安倍総理大臣を支持する議員も多く、派内で意見が分かれています。

こうした中、派閥の会長を務める竹下総務会長は那覇市で講演し、「自民党の総裁選挙はまさに総理大臣を選ぶ選挙だ。建設的な議論を積み重ねることで、国民に将来の日本の姿を思い描いてもらえるような選挙にしなければならない」と述べました。

そのうえで竹下氏は、「どの候補を支持するか、迷っていないと言えようそになる。世の中の流れに従って、しっかりと決めなければならず、最後の詰めを行っている」と述べ、来週9日に行われる派閥の会合で対応を表明することを目指し調整を急ぐ考えを重ねて示しました。

自民総裁選へ引き締め＝不祥事続く細田派が研修会

自民党細田派は5日、長野県軽井沢町で夏季研修会を開いた。同派は安倍晋三首相（党総裁）の出身派閥で、来月

の総裁選での首相3選へ結束を確認した。ただ、所属議員の不祥事が相次いでおり、「総裁派閥」として気の緩みを指摘する声もある。

「われわれは政権の中枢を担う政策集団だが、一致結束がなければ総裁選に対応することは難しいわけで、一人ひとりの努力がこれから必要だ」。細田博之会長は研修会でこう呼び掛け、議員各自の自覚を求めた。

94人の最大勢力を誇る細田派だが、かつては「総裁を出せない派閥で（元首相の）田中角栄先生をはじめ大勢力の影に隠れた時もあった」（細田氏）。それも今は昔で2001年以降、小泉、安倍、福田の各政権が誕生。12年に再びスタートした安倍政権は今日まで続く長期政権となっている。

ただ、首相出身の最大派閥から来るおごりか、所属議員が首相の足を引っ張る事態が続発している。加藤寛治衆院議員が5月、結婚披露宴で子どもを3人以上産み育てるよう呼びかけていると発言したり、穴見陽一衆院議員が6月、国会で意見陳述中の参考人のがん患者にやじを飛ばしたりした。

7月に入っても事態は収まらず、杉田水脈、谷川とむ両衆院議員がLGBT（性的少数者）に差別的な寄稿や発言を行った。総裁選に悪影響を及ぼしかねない若手の言動に、首相支持の他派閥からは「首相の出身派閥という特別意識だ」と厳しい視線が向けられている。

地方の党員・党友は世論に敏感とされ、総裁選の地方票への影響が懸念される中、細田氏ら幹部は研修会を契機に態勢の立て直しを図りたい考えだ。ただ、若手の失態が続くのは「派閥幹部の緩みが原因」と指摘する向きもある。

（時事通信 2018/08/05-18:18）

安倍首相、地方票対策着々＝県議ら約100人と面会＝自民総裁選

安倍晋三首相は9月の自民党総裁選の地方票対策として、地方議員らとの面会日程を積極的にこなしている。出馬表明はまだだが、事実上の選挙対策だ。2012年の総裁選で石破茂元幹事長に大差をつけられた党員・党友票を固める狙いがある。

衆院議員会館で3日開かれた千葉、愛知両県などの地方議員との会合には、県議ら約60人が出席。首相は総裁選に関し「思いはある」と意欲を隠さなかった。出席者からは「アベノミクスの恩恵が地方に届いていない。もっと経済対策をしっかりとやってほしい」との要望が出された。

首相はこれに先立ち、公邸で東京・多摩地区の市町村長ら約20人と会食したほか、名古屋市議約15人と面会した。同市議から「総裁選、頑張ってください」と激励された首相は、「しかるべき時が来たら態度を表明する」と応じた。（時事通信 2018/08/03-19:58）

「安倍選対」動き出す、萩生田幹事長代行ら会合

読売新聞 2018 年 08 月 03 日 11 時 42 分

自民党の萩生田光一幹事長代行（細田派）や加藤厚生労働相（竹下派）ら安倍首相（党総裁）に近い議員が 2 日、東京都内のホテルで会合を開き、9 月の党総裁選に向けた対応を協議した。「安倍選対」の中心メンバーの活動が事実上スタートした。

西村康稔官房副長官（細田派）、衛藤晟一首相補佐官（二階派）、木原稔財務副大臣（竹下派）らも参加した。

竹下派・青木一彦氏「石破先生を全力で支える」

読売新聞 2018 年 08 月 04 日 09 時 49 分

自民党竹下派の青木一彦参院議員は 3 日、鳥取市で開かれた石破茂・元幹事長のパーティーに祝電を寄せ、9 月の党総裁選での石破氏支持を表明した。青木氏は引退後も竹下派に影響を持つ青木幹雄・元党参院議員会長の長男。祝電で青木一彦氏は、2016 年参院選の「鳥取・島根」選挙区で石破氏に支援されて当選したことに触れ、「合区選挙でお世話になった恩義に報いるためにも石破先生を全力で支える」と明言した。

自民総裁選、首相支持の 4 派連携 地方票獲得に重点

共同通信 2018/8/3 21:05



安倍首相の連続 3 選を支持する自民党 4 派閥の幹部会合に臨む細田派の下村博文事務総長＝3 日、東京・永田町の党本部

9 月の自民党総裁選で安倍晋三首相（党総裁）の連続 3 選を支持する細田、麻生、岸田、二階の 4 派閥は 3 日、幹部会合を開き、連携して 47 都道府県で首相支持を呼び掛ける集会を行う方針を決めた。国会議員票（405 票）で優位な現状を踏まえ、地方票（405 票）獲得に重点を置く作戦を描く。立候補を準備する石破茂元幹事長は地元の鳥取市で政治資金パーティーを開催した。

首相は午後 12 時に公邸で名古屋市議約 20 人と意見交換した。続いて保守系団体「日本会議」に関係する福島、埼玉、千葉、愛知各県の県議や市議ら約 60 人と国会内で会い、経済政策など政権の実績をアピールした。

主要 4 派、人事にらみ思惑交錯＝合同選対が発足＝自民総裁選

9 月の自民党総裁選に向けて、安倍晋三首相の 3 選を支持する細田派など主要 4 派は 3 日、事実上の合同選対本部

を発足させた。各派は結束して対応する方針だが、早くも総裁選後の内閣改造・党役員人事を想定した主導権争いも垣間見え、今後は派閥間の綱引きが激しくなりそうだ。



自民党の細田、麻生、二階、岸田 4 派選対会議であいさつする麻生派の棚橋泰文事務総長（左から 2 人目）＝3 日午後、東京・永田町の同党本部

「3 選のために全力を尽くす」。党内第 2 派閥である麻生派の棚橋泰文事務総長は 3 日の会合でこう語り、首相を支える姿勢を訴えた。

会合には首相の出身派閥で党内最大勢力の細田派や麻生派のほか、岸田、二階両派の事務総長らが出席した。今月下旬から 47 都道府県で集会を順次開催し、地方票の掘り起こしを進める方針を確認。4 派の所属議員が手分けして、自身の選挙区の党員に電話で働き掛けを行うことも決めた。

首相が勝利すれば、それまでの貢献度がその後の人事に直結するとみて、各派ともアピールに躍起だ。陣営の主要メンバーから他派を排除する動きも出ている。

岸田派会長の岸田文雄政調会長が首相支持を表明した翌日の先月 25 日。細田、二階、麻生 3 派事務総長は、岸田派抜きで総裁選対応を協議した。安倍陣営は 3 派が中心と誇示する狙いがあったとみられる。

これに対し出遅れた岸田派は、細田派に協議メンバーに加えるよう要請。関係者によると、最終的には結束の乱れを懸念した首相が細田派に枠組みを拡大するよう指示したという。

それでも 3 日の会合では、棚橋氏が「これまで 3 派の事務総長で（準備を）進めてきた」とわざわざ言及する場面があった。出席者の一人は「これでは首相のためにならない」と語った。

首相周辺では、竹下派が対応を決めかねている段階で 4 派連合が動き出すと、「うまみ」が少ないとみた竹下派を石破茂元幹事長支持に向かわせかねないと懸念する向きもある。首相の「圧勝」を狙う関係者は「センスがない」と冷ややかに語った。（時事通信 2018/08/03-19:53）

自民総裁選 安倍首相支持 4 派、全国で集会開催へ

毎日新聞 2018 年 8 月 3 日 21 時 08 分（最終更新 8 月 3 日 21 時 08 分）

9 月の自民党総裁選で安倍晋三首相の 3 選を支持する細田、麻生、岸田、二階 4 派は 3 日、各都道府県で首相を支援する集会を 8 月下旬から順次開催する方針を決めた。可能な限り首相の出席も求め、2012 年総裁選で石破茂元幹事長に大差をつけられた地方票対策を強化する。

4派の事務総長が党本部で会合を開催。事実上の選対会議で、岸田文雄政調会長の不出馬表明を受け、今回から岸田派の望月義夫氏も加わった。会合では4派の各議員に対し、地元の党員に電話などで働きかけを徹底させる方針も確認した。

4派は首相の出馬表明に先立って準備を本格化させ、態度未定の国会議員の取り込みにつなげる狙いもある。細田派の下村博文氏は記者団に「4派が走り始めれば、他にも安倍総裁を応援する人たちが出てくるだろう」と語った。

首相も3日、首相公邸や国会内で自民党の埼玉、愛知両県の地方議員と相次いで面会。出席者によると、首相は総裁選に関し「しかるべきタイミングでお話する」と語った。

一方、近く出馬表明する石破氏は3日、地元・鳥取市内で自身の政治資金パーティーを開催。総裁選について「時間を取り、きちんとした討論のもとで、国民に国の将来を考えていただく機会が必要だ」と訴えた。【村尾哲、高橋恵子】

衆院竹下派「首相支持」相次ぐ 石破支持の参院と割れる 朝日新聞デジタル南彰 2018年8月2日 20時56分

自民党総裁選をめぐり、竹下派（55人）を率いる竹下亘・党総務会長は2日、所属する衆院議員と意見交換をした。同派の参院議員（21人）は石破茂・元幹事長の支持で集約を進めているが、衆院側は連続3選をめざす安倍晋三首相を支持する意見が相次いだ。

この日は竹下派の衆院議員34人のうち、21人が国会周辺の事務所に集まった。冒頭、竹下氏は「今日初めてみなさんから意見を聴くことになる」とあいさつ。「3年後の総裁選では我が派から、しっかりと候補を出したい」とも語り、今回の対応に関わらず派としての結束を求めた。

その後、竹下氏と事務総長の山口泰明・党組織運動本部長を除く19人が意見を表明。「安倍首相はトランプ米大統領としっかり話せる関係を築いている」「経済でも実績を残しており、いま首相を代えるべきではない」と、首相支持の声が大勢を占めた。

衆院側は会長代行の茂木敏充・経済再生相や加藤勝信・厚生労働相、山口氏ら首相支持の議員が多い。茂木氏は「一番重要なことは誰が日本のリーダーシップを取るかだ」と首相支持をにじませた。山口氏によると、石破氏の名前を挙げた人はいなかったという。

一方、同派の参院側が石破氏支持で集約を進めるなか、派の結束を求める意見も出た。渡嘉敷奈緒美・環境副大臣は安倍政権の評価をしたうえで、「国内では健全な総裁選を行う必要がある。竹下会長の意思に従う」と強調。小淵優子・元経済産業相らも「竹下会長に一任すべきだ」「衆参で一致した対応をすべきだ」と訴えた。

竹下氏は7日に残りの衆院議員や参院側から意見を聴取。

8日に幹部会を開いたうえで、9日に長野市で開く派閥会合で正式に態度表明する予定だ。（南彰）

自民党総裁選 安倍首相と岸田氏が会談 3選に向け連携確認

NHK2018年8月5日 23時21分

来月の自民党総裁選挙を前に、安倍総理大臣は5日夜、立候補を見送った岸田政務調査会長と会談し、安倍総理大臣の3選に向けて連携していくことを確認しました。

西日本豪雨の被災地の視察や、広島原爆の日の平和記念式典への出席のため、広島県を訪れている安倍総理大臣は5日夜、広島市内のホテルで自民党の岸田政務調査会長と会談しました。

この中で、両氏は、総裁選挙での対応を決めていない竹下派の動向や、党員票の情勢などをめぐって意見を交わし、安倍総理大臣の3選に向けて連携していくことを確認しました。

今回の自民党総裁選挙は、安倍総理大臣と石破元幹事長の2人の争いになるという見方が強まっています。

産経新聞 2018.8.4 22:43 更新

参院選の公認候補「9月の立憲フェスでお披露目を」 立民・枝野代表



立憲民主党の枝野幸男代表（春名中撮影）

立憲民主党の枝野幸男代表は4日、来夏の参院選の公認候補者の擁立について「9月30日に開催する党大会『立憲フェス』で、お披露目したい」との考えを示した。さいたま市内で開いた県連の会合後、記者団に語った。枝野氏はお膝元の埼玉選挙区での議席確保を目指しており、現在、候補者の選定を進めている。

4日の会合では来春の統一地方選について協議した。熊谷裕人県連幹事長は会合後、記者団に「埼玉県議会では自民の過半数割れ、さいたま市もできるだけ多く議席を取りたい」と意気込みを語った。

熊谷氏は県議選について「3人区以上で立民と国民民主党の議席がない（埼玉県内の）春日部と草加、川口に候補者を擁立したい」との考えを示した。さらに「1人区でも旧民主党の現職がいない選挙区で積極的に擁立したい」と語った。

立民県連と国民民主県連は統一地方選の1～2人区について候補者調整する方向で合意している。ただ、共産党とは候補者調整は行わない方針で、与党への批判票が分散し、

自民党に有利に働く可能性もある。

立憲が自由、社民に連携呼び掛け＝参院で会派結成も視野

立憲民主党が、秋の臨時国会で参院審議の主導権を握ろうと、統一会派結成も視野に、自由、社民両党に連携強化を呼び掛けている。参院で立憲、自由、社民の3党が手を組めば、国民民主党を上回り、野党の最大勢力となるためだ。

立憲は衆院で野党第1党だが、参院では23議席で、国民会派に比べ1議席少ない。立憲幹部は3日、取材に「参院でも野党第1会派を目指すのは当然だ」と強調した。(時事通信 2018/08/03-16:59)

岡田氏・野田氏…旧民進の大物議員、地元で「民主連合」 朝日新聞デジタル山岸一生 2018年8月3日 19時10分



旧民進党系議員らが集う「三重民主連合」

の設立を受け記者会見する、いずれも三重県選出の(左から)芝博一参院議員、岡田克也、中川正春両衆院議員＝2018年7月28日、津市、山岸一生撮影

衆院会派「無所属の会」の岡田克也代表が、旧民進勢力でつくる地域政党「三重民主連合」を立ち上げた。千葉でも野田佳彦元首相が6月に「千葉民主連合」を設立。来年の統一地方選や参院選で野党候補が乱立して共倒れすることを避ける狙いがあり、他県への拡大も模索する。

津市で7月28日に開かれた三重民主連合の設立総会。岡田氏は「野党がバラバラでは巨大与党に対抗できない。参院選は少なくとも三重では大きな固まりで戦う。それが将来、国レベルに必ずつながる」と訴え、参院選の三重選挙区に所属県議を擁立すると発表した。同連合には三重県の国会議員や地方議員ら約70人が参加する。

岡田氏は無所属となった5月、旧民進勢力で「三重新政の会」を発足。翌月に野田氏が千葉民主連合を作ると、「旧民進勢力で統一感を出したい」として無所属の会の会合で呼びかけ、名前をそろえることを決めた。

野田氏は「野党が互いに足を引っ張り合ってはいけない」と話し、国会対応で溝を深める立憲民主党と国民民主党の間に入り、選挙区ごとの候補者調整を通じて旧民進勢力の再結集を後押しすることをめざす。

三重、千葉両県をモデルケース…

旧民進党出身議員が地域政党設立の動き

NHK8月5日 4時18分

去年、分裂した民進党出身で、現在、無所属で活動する議

員からは、地元で地域政党や政治団体を設立し旧民進勢力を糾合しようという動きが出ていて、今後、来年の参議院選挙をにらんだ野党間の候補者の調整や、国政での野党連携につなげたい考えです。



去年の衆議院選挙の直前に分裂した民進党出身で、現在、無所属で活動している岡田元外務大臣と野田前総理大臣は、それぞれの地元で、地域政党「三重民主連合」と政治団体「千葉民主連合」を設立しました。

旧民進党の勢力を糾合しようという動きは他の県にも広がる兆しを見せていて、岡田氏らとしては、来年の参議院選挙をめぐり、野党第1党の立憲民主党と第2党の国民民主党が、定員が2人以上の「複数区」ではそれぞれ候補者の擁立を目指すとしていて、共倒れの可能性も指摘されていることから、全国的に野党間で候補者調整を行える環境を整えたいものと見られます。

さらに、先の通常国会で立憲民主党と国民民主党の間で国会対応の足並みが一致せず、政府・与党を利するところがあつたと指摘されていることから、こうした動きを国政での野党連携にもつなげたい考えです。

「解決」路線、見直しの声＝結党3カ月、代表選へ争点化も一国民民主

国民民主党内で「対決より解決」など党の基本路線見直しを求める声が漏れ出ている。政権との対決姿勢を示す立憲民主党との連携を重視する観点からだ。党内には9月の党代表選出馬に意欲を示す玉木雄一郎共同代表への対抗馬擁立を模索する動きもあり、路線変更の是非が争点になる可能性もある。

「執行部には危機感がない。このままでは衆院解散があつても戦えない」。ある中堅議員はこう懸念を漏らした。

現状に不満を強めているのはもっぱら衆院側の一部だ。国民民主は7日で結党から3カ月。ただ、各種世論調査の支持率は0～1%台と低迷し、政権との差別化も打ち出せずにいる。

実際、「原則、審議拒否はしない」との方針で臨んだ先の通常国会では存在感を発揮できなかった。「働き方改革」関連法などへの対応をめぐっては、立憲など他の野党とあつれきも生じ、秋に予想される臨時国会では孤立しかねない状況にある。別の中堅議員は「年末にかけて離党ドミノが起きかねない」と危惧する。

そうした中、衆院側で浮上しているのが、22日告示の代表選に「野党共闘の強化」を掲げる対抗馬を擁立して路

線転換を目指すという考えだ。対象として泉健太国対委員長、原口一博代表代行らの名が挙がっている。

ただ、今のところ立候補に必要な10人以上の推薦人確保は困難との見方が強い。参院側を中心に執行部の路線を支持する意見が多いためだ。執行部メンバーは「立憲に追随して対決路線に突き進んでも、党の支持率が上向くとは思えない」と語り、対抗馬擁立の動きをけん制している。

(時事通信 2018/08/05-14:17)

国民民主、代表選に玉木氏立候補へ 対抗馬立てる動きも 朝日新聞デジタル竹下由佳 2018年8月3日 19時12分

国民民主党の玉木雄一郎共同代表が9月の党代表選に立候補する意向を固めた。「対決より解決」「未来先取り政策」を掲げたが、通常国会では野党内の亀裂が表面化。党勢低迷に危機感を強める党内には対抗馬を立てる動きもある。

代表選は、来年の統一地方選や参院選に向けた党の立て直しが焦点だ。支持率は1%前後を推移し、党员・サポーター数は民進党時代の2017年度から3分の1に減少。党内では、「政権との対決姿勢を強めるべきだ」「野党共闘を積極的に進めるべきだ」と玉木氏の党運営に異論を唱えるグループが対抗馬の擁立を模索する。「党の分裂を招く対立は避けるべきだ」との声もあり、選挙戦になるかは不透明だ。大塚耕平共同代表は立候補しない考えを周囲に伝えている。

代表選は22日告示、9月4日投開票。国会議員と党员・サポーターの投票で決まる。(竹下由佳)

JNN5日1時14分

国民民主の代表選は一騎打ちに

来月4日に行われる国民民主党の代表選挙に、津村啓介衆院議員が立候補することがわかりました。6日に表明するということです。

代表選をめぐっては、玉木共同代表が今週中にも立候補を表明する見通しで、玉木氏と津村氏の一騎打ちになる可能性が高いとみられます。

国民民主党は結党以来、支持率の低迷が続いていて、代表選で存在感をアピールしたい考えです。

国民・代表選 津村啓介議員が立候補の意向

NNN2018年8月5日 14:50

来月4日に行われる国民民主党の代表選挙に津村啓介衆院議員が立候補する意向であることがわかった。

全文を読む

来月4日に行われる国民民主党の代表選挙に津村啓介衆院議員が立候補する意向であることがわかった。

国民民主党の津村議員は、日本テレビの取材に「推薦人確保のめどはついた」と立候補に自信を示していて、今週中に、正式に表明するという。

また、立候補の理由について、「今の玉木共同代表が掲げる『対決よりも解決』の路線を転換したい。野党共闘に明確に舵(かじ)を切る」と話している。

津村議員は当選6回で、衆議院予算委員会の理事を務めている。

国民民主党の代表選挙は来月4日投開票で、玉木共同代表も立候補を検討している。

豪雨対応、玉木氏「甚だ疑問」 臨時国会を要求

共同通信 2018/8/4 17:45

国民民主党の玉木雄一郎共同代表は4日、鳥取県米子市で記者会見し、政府の西日本豪雨への対応が不十分だと重ねて批判した。「危機意識が薄いのではないかな。なぜ臨時国会を速やかに開いて補正予算を編成しないのか、甚だ疑問だ」と述べた。

西日本豪雨の危険が迫った7月5日夜、安倍晋三首相も出席して開かれた自民党議員の飲み会「赤坂自民亭」が不適切だったと改めて指摘。「その後も対応が速やかに行われているとは思わない」と強調した。

国民・玉木代表が来崎、会見 参院選「野党共闘探る」

長崎新聞 2018/8/3 11:008/3 11:06updated

国民民主党の玉木雄一郎共同代表が2日、長崎市内で会見し、来年夏の参院選での野党連携について「長崎に限らず1人区では1人に絞って与党と向き合うことが重要。他党との連携を強化したい」と語り、共闘態勢の構築の必要性をあらためて訴えた。党代表選(今月22日告示、9月4日投開票)に関しては、自身の対応について、立候補予定者への事前説明会がある9日の一つのめどに判断する考えを示した。

参院選長崎選挙区(改選数1)では、白川鮎美氏が党公認で出馬を予定。野党からは共産党も候補者を擁立する考えだが、玉木氏は「安倍政権の現状がひどすぎるという点で一致できる。最大限の調整を図りたい」とした。共産党との安全保障政策の違いについて「日米安保や自衛隊が重要な役割を担っていることを理解していただきたい」としながらも、「考え方が違うのは尊重しながら、一致できることを探りたい」とした。

会見では、白川氏と次期衆院選長崎4区で公認候補として立候補を予定している宮島大典氏がそれぞれ決意を語った。

玉木氏は2日、市中心部で街頭演説をし、有権者に政権交代への支持を訴えた。



参院選での野党連携に意欲を見せる玉木代表（中央）＝長崎市宝町、ザ・ホテル長崎

産経新聞 2018.8.4 05:00 更新

【単刀直言】国民民主・榛葉賀津也参院幹事長 目指すは「中道保守」路線 「18連休」はもってのほか



インタビューに答える国民民主の榛葉賀津也参院幹事長＝18日、東京・永田町の参院議員会館（酒巻俊介撮影）

国民民主党として初の通常国会が終わりました。会期中に旧民進党が割れてしまったことは残念ですが、現実を受け止めて前に進むしかありません。規模は小さくなってしまいましたが、雰囲気は明るいし、何より団結感があるんです。

敬遠される左傾化野党

国民民主党が追求するのは「中道保守」路線です。

政府・与党のような経営者目線の政治ではなく、働く人の目線で暮らしの底上げをしたい。実は、自民党を伝統的に応援している農家や地域の商店街、建設業界は、安倍晋三政権の経済政策「アベノミクス」の恩恵を全くと言っていいほど受けていない。私の実家の周りには茶農家がたくさんありますが、生産者はみんな泣いていますよ。

国民民主・前原誠司元外相 標榜すべきは「リベラル右派」

だけど、そうした方々も選挙になると自民党に投票するんです。なぜか。右傾化する「安倍1強」政治に対抗して野党がどんどん左傾化してしまい、敬遠されているからです。多くの人が不満を抱きながらも消去法で自民党を選んでいる。

国民民主党は、安倍政権を消極的に支持している層の受け皿にならなくてはならない。つらくても、この道を走るしかありません。

わが党は「対決より解決」を掲げています。今の永田町に取り戻さなければならない政治文化です。「野党の足並みを乱す」という批判も受けますが、党が違うのだから手法が違って当たり前ですよ。いずれ有権者に評価される日が訪れると信じています。

通常国会を振り返って、野党にとって最も問題だったのは「18連休」と揶揄（やゆ）された4月末から5月にかけての審議拒否戦術です。あれはもったいなかった。

あの頃は、財務省の決裁文書改竄（かいざん）問題などで安倍政権が一番苦しい時期でした。裏を返せば野党にとっては絶好のチャンスだったわけです。しかし、「18連休」

で世論の批判は野党に向き、安倍政権は息を吹き返してしまった。私が衆院の野党第一党の国対委員長だったら、絶対に国会に出てガンガン攻めましたよ。

国民巻き込む憲法論議を

私の国家観に最も大きなインパクトを与えたのは、イスラエルの大学で学んだ20代半ばの3年間でした。

イスラエルでは18歳になると徴兵される。拘束されたイスラエル兵1人を取り返すために、約400人のパレスチナのテロリストらを解放することも辞さない国です。国家と国民を守るための徹底したリアリズムに衝撃を受けました。

日本はもっと真剣に国民や領土の問題を考えるべきですよ。拉致問題に関しても「一人の国民も他国に奪われてたまるか」という断固たる矜持（きょうじ）が必要です。

通常国会では憲法論議も十分に深まりませんでした。国会議員は反省しなければいけません。メディアも「護憲派」と「改憲派」に分類するのはそろそろやめた方がいい。9条ばかりが焦点にされがちですが、地方分権をはじめ議論すべきテーマはいっぱいある。

守るべきものは守り、変えるべきものは変える。憲法を政争の具にせず、国民を巻き込んだ論議を国会が巻き起こしていくべきです。（広池慶一）

社民、吉田忠智前党首を比例公認 来年夏の参院選

朝日新聞デジタル 2018年8月2日 19時07分



来年夏の参院選比例

区に立候補を表明する社民党の吉田忠智前党首＝2018年8月2日午後1時34分、国会内、岩下毅撮影

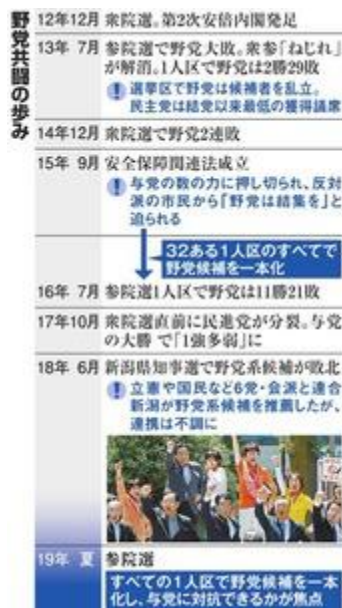


来年夏の参院

選比例区に立候補を表明する社民党の吉田忠智前党首（右）。左は吉川元・幹事長＝2018年8月2日午後1時32分、国会内、岩下毅撮影

社民党は2日の常任幹事会で、来年夏の参院選比例区に前職の吉田忠智前党首（62）を公認することを決めた。

新潟知事選「他党と交わるな」 民進が流した不信の文書



6月10日投開票の新潟県知事選が告示される2日前。民進党県連（現・国民民主党県連）が地方議員らに「連合新潟との合意・確認事項」と題したA4判2枚の文書を流した。

《確認団体には加わらないこととする》《確認団体の本部長や顧問に就任している各衆院議員は集会に招かない》《確認団体の役員就任は断るものとする》

確認団体とは、野党系候補の選挙対策本部のことだ。文書は、社民党、共産党などの政党や立憲民主党の国会議員と交わらないよう指示する内容だった。

作成に関与した県議は、「共産党は自党のために選挙をしようとしていた」。他党に支持者を奪われることを心配したという。

知事選は与野党対決の構図で、立憲、国民、共産などの野党6党・会派が「この知事選の勝敗が安倍政権の命運を決める」（国民の大塚耕平共同代表）と表向き共闘した。ところが、内実はバラバラだった。

立憲も、選挙応援の日程を野党…